

自由な発想と豊かな心

- 1 豊かな心を育むための言語に関する能力を育てる
- ・言語の役割とは (1) 知的活動(論理や思考)の基盤
 - (2) コミュニケーションの基盤
 - (3) 感性・情緒の基盤

低学年	中学年	高学年
表現する		
<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語を明確にして ・比較の視点を明確にして ・判断と理由の関係を明確にして ・時系列で 	<ul style="list-style-type: none"> ・判断と根拠,結果と原因の関係を明確にして ・条件文で ・科学用語や概念を用いて 	<ul style="list-style-type: none"> ・演繹法や帰納法などの論理を用いて ・規則性やきまりなどを用いて
話し合う・述べ合う・助言し合う		
<ul style="list-style-type: none"> ・互いの話を集中して聞き、話題に沿って ・よいところを見つけて感想を ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめて 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの考えの共通点や相違点を整理し進行に沿って ・書いた物を発表し合い、書き手の考えの明確さなどを ・文章を読んで考えたことを 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的 ・書いた物を発表し合い、表現の仕方に着目して ・本や文章などを読んで考えたことを

- 2 発想が広がるために大切なこと
- ・感性、気付き、疑問を素直に受け止める・感心する
 - ・すぐに解答を示さない(考え方を示唆する、決めつけない、価値観は示す)
 - ・多面性・多角性があることを教える

3 ワークショップ ・・ 自分の「好き」を伝えよう 相手の「好き」を聞いてみよう ・・

(1) グループワーク 「好きなものどっち？」

- ① 伝える ・カードを引き、好きな方を選んで、その理由を伝える
- ② 聞く ・相手の「好き」を興味津々に聞く ・自分と比較しながら聞く
- ③ 話し合う ・1の表を参考にしながら

(2) 全体ディスカッション

4 創造的な思考力を育てるための7ポイント

- ・広げる ・絞り込む ・視点変換 ・加減する ・統合する ・変換する ・類推する



令和元年7月19日

和みの学び舎

奥沢小学校 PTA 会長

萩原 富夫

家庭教育学級委員長

松坂菜穂子

令和元年度 奥沢小学校 第1回家庭教育学級 活動報告

令和元年7月13日(土)に本校の校長先生である玉野麻衣先生に「自由な発想と豊かな心」というテーマでご講演頂きました。当日は48名もの大勢の保護者の皆様が参加される中、対話を促す専用カードを使ったワークショップも行われ、大変盛り上がりました。ご講演では、子供の自由な発想を引き出すには、まずは接する親自身が心を豊かにし、子供に対して丁寧な接し方を心がける事や、子供に選択肢を示し、決断を促し、じっくり待つことなど始め、多くの心に響くメッセージを受け取る気づきの時間となりました。



【講演内容の感想】

- とても楽しい講演でした。校長先生のお話の中で「ピンチはチャンス」という発想、子供自身に選択をさせるという良いヒントをいただきました。即実行したいと思います。
- 子供の豊かな心を育むためにはまず親の豊かな心を広げることが必要とは！確かに！今まで気にしていなかったので丁寧な時間も取り入れていきたい。
- ワークショップで、色々な方とお話できてよかった。2択で子供に選択させることで、自己決定から自己理解へつながるといってお話は大変興味深かった。早速実践してみたいと思う。
- 大変勉強になりました。選択肢を示すことで意志決定を促し、理由を言語化することで実行力と主体性を育てるというフレームワークは家庭だけでなく仕事でも有用だと感じました。有り難うございました。
- ワークショップが苦手なので、やる事になった時は嫌だったが、実際していたらとても楽しかったです。自分で選択し、自分の考えを人に話して興味を持って聞いてくれる事が、とても気持ちの良いもので、成長過程にも大切なものだと感じました。これから子供にも2択の選択肢から始めてみたいと思います。
- 我が子は選択する事を嫌がるので、今日学んだ2択からというアイデアはとても参考になりました。
- 日頃、忙しさからついつい子供との会話が簡単になりがちでしたが、もっと、丁寧に聞いてあげることが大切だと実感しました。まずは自分自身が物事をきちんと考えながら行動していきたいです。
- ワークショップでどちらかを選ぶカード、面白かったです。理由を考えてみると、自分のことを深く考えるきっかけになりました。
- 子供の指示待ちでは、いつも困っています。毎日の生活の中で、一つ一つ2択を選ぶことから始めていけばいいんだと思いました。もう少し、考えながらコミュニケーションをとっていこうと思いました。

家庭教育学級委員